

中期経営戦略の 進捗について

中期財務目標(平成29年度)の見直し

EPS成長

350円以上

➡ 400円以上

見直し

海外売上高 / 営業利益 *

220億米ドル / 15億米ドル

据置き

設備投資の効率化

(国内ネットワーク事業 **)

▲2,000億円以上

(対平成26年度)

据置き

コスト削減 ***

(固定/移動アクセス系)

▲6,000億円以上

➡ ▲8,000億円以上

(対平成26年度)

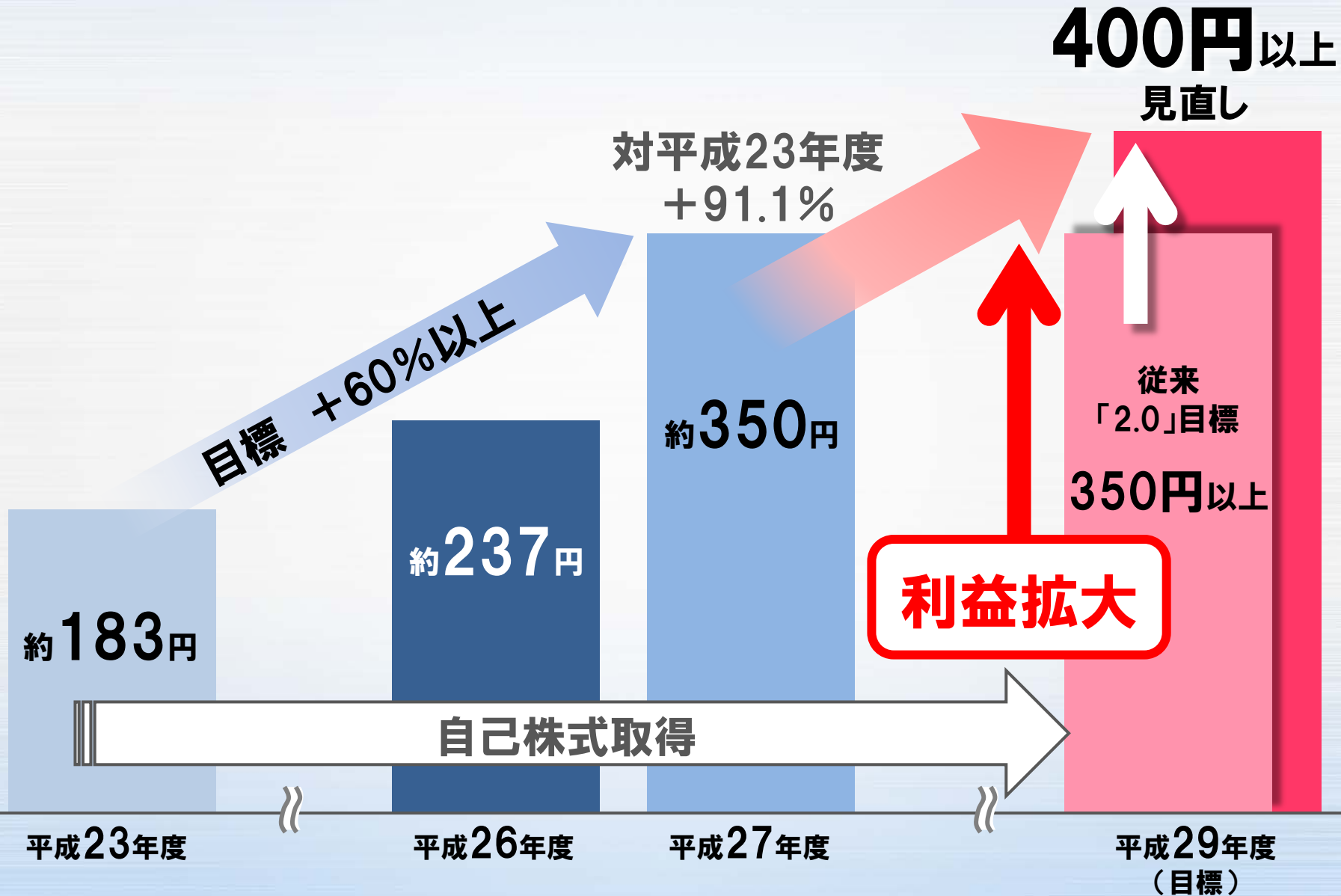
見直し

* 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

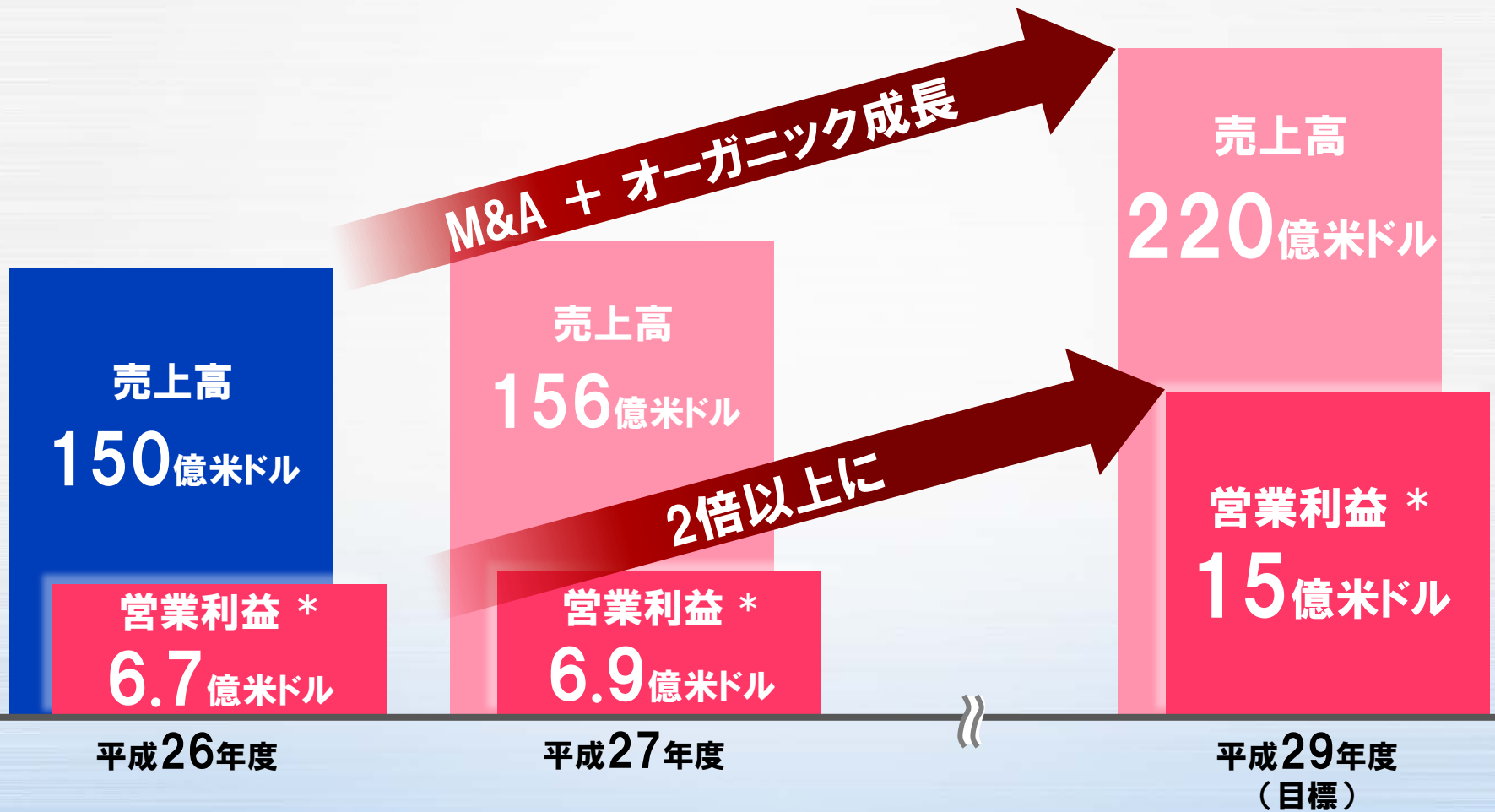
** コミュニケーションズのデータセンター等を除く

*** 減価償却方法の見直し影響を除く

EPS成長



海外売上高 / 営業利益



* 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

設備投資の効率化

Capex to Sales の改善

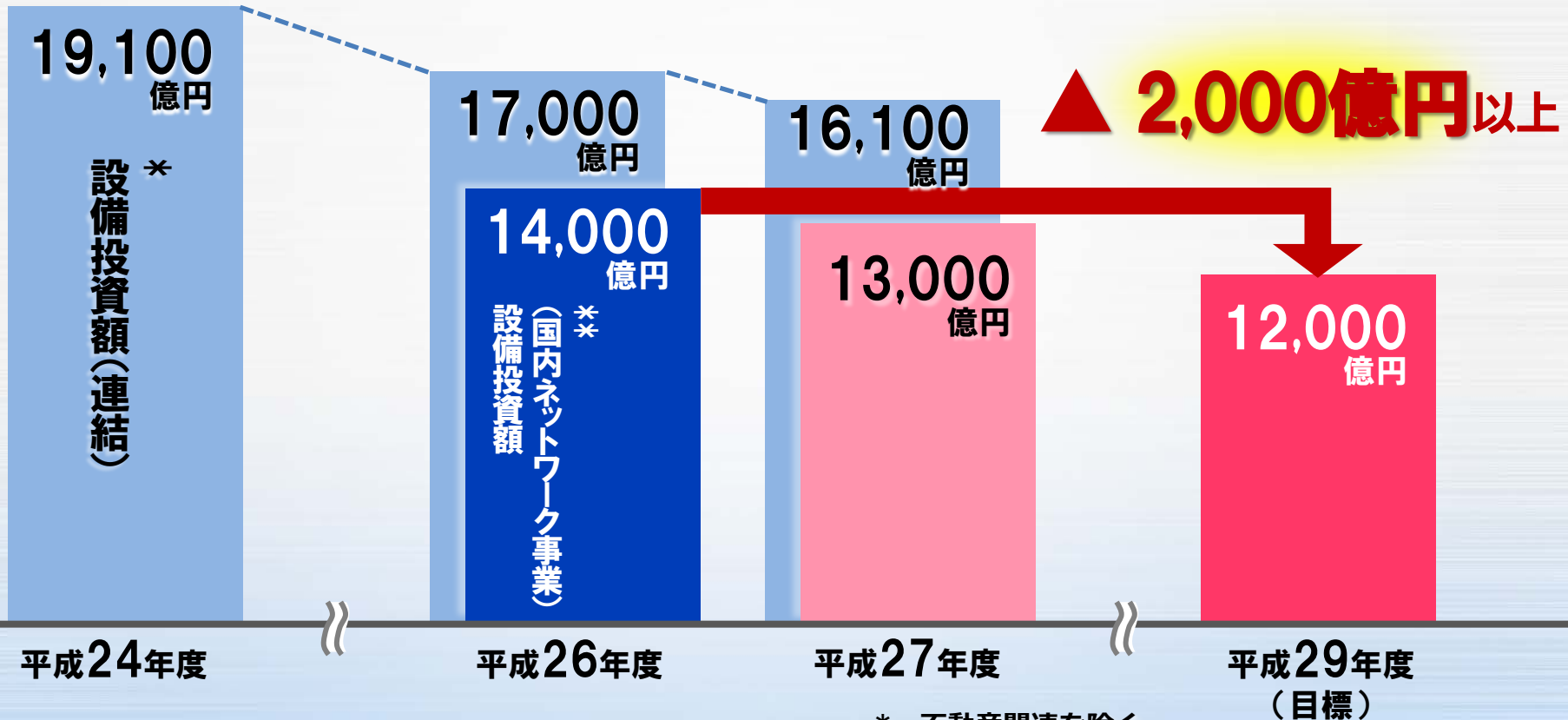
国内ネットワーク事業の効率化

Capex to Sales

18.1%

3年で15%に

14.2%



* 不動産関連を除く

** コミュニケーションズのデータセンターなどを除く

コスト削減

平成27年度

コスト削減 *
(固定/移動アクセス系)

対平成26年度

▲4,140億円

平成29年度(目標)

従来
「2.0」目標
(対平成26年度)
▲6,000億円
以上



見直し

▲8,000億円
以上

* 減価償却方法の見直し影響を除く

持続的な成長に向けて

- 「2020」「地方創生」を契機とした
B2B2Xモデルへの転換を加速

- パートナーとともに高付加価値サービスを創出、
新たなビジネスモデルを確立



NTTグループ